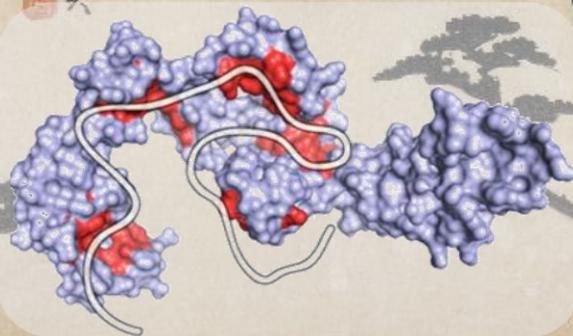


臯月セミナー

NMR provides atomic insight into how molecular chaperones execute their antiaggregation function.



日時：平成27年5月12日(火) 午後3時～

場所：蛋白質研究所4階セミナー室

演者：齊尾 智英 先生（北海道大・理）

トリガーファクターシャペロンによる動的基質認識の構造基盤

分子シャペロンはタンパク質の凝集を防ぐことによってタンパク質の品質管理や折りたたみ・輸送という生命の基本的なプロセスにおいて重要な役割を果たす。本発表では、リボソーム上にてほぼ全ての新生鎖と相互作用するTrigger Factor (TF) シャペロンに対するNMR構造解析・ダイナミクス解析に基づき、TFと変性状態の基質タンパク質の相互作用の詳細について議論する。

T. Saio *et al.*, *Science* 344, 1250494 (2014)

世話人：大阪大学 蛋白質研究所 蛋白質構造形成研究室 後藤 祐児

Tel: +81-6-6879-8614